



キク編

病害虫注意報 2024年3月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

白さび病に要注意！

気温が徐々に高くなる時期です。暖房機の設定によっては、温室内が高湿度になる時間が長くなります。ハウス内の環境制御と農薬による防除をしっかりと組み合わせて行いましょう。



症状

- ▶ 葉に白い隆起した斑点が発生。
- ▶ 茎、葉柄、花梗、ガクに発生する場合もある。

多発条件

- ▶ 15～20℃の気温。
- ▶ 多湿条件（湿度90%以上）や葉の結露。
- ▶ 降水量が多く、比較的冷涼な時期。
- ▶ 肥料不足、または極端な窒素過多。

対策

- ▶ 循環扇によるハウス内の温度・湿度ムラを減らす。
- ▶ 予防的に薬剤散布を行う
- ▶ 適切な施肥量で管理を行う
- ▶ 排水不良圃場では、排水を良好にする。
- ▶ 発病株は伝染源になるため、抜き取り、焼却もしくは土中深くに埋める。

地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合があります
展着剤・葉面散布剤などを加用する場合もご注意ください。

時期	RAC	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数・使用量	使用時期	回数
定植時	P02	白さび病	予 inochioキクツチャ粒剤	6～9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	M03	白さび病	予 ジマンダイセンフロアブル	500～800倍	—	8回
	23	アザミマ類 アブラムシ類・ハダニ類	inochioセイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
消灯時	11	白さび病	予・治 アミスター20フロアブル	2,000倍	発病初期	5回
	34	アザミマ類	ファインセーブフロアブル	2,000倍	発生初期	2回
発蕾時	19	白さび病	予・治 ポリオキシシAL水溶剤	2,500倍	発病初期	8回
	5	アザミマ類 ハモグリバエ類 等	ディアナSC※	2,500～5,000倍	発生初期	2回
破蕾時	7	白さび病	予・治 カナメフロアブル	4,000～8,000倍	発病初期	3回
	6	アザミマ類・ハダニ類	アグリメック※	500倍	発生初期	5回

※花き類・観葉植物登録

海藻サンバ

育苗期・生育期:1,000倍

- ▶ コリンによる
光合成促進と発根促進
- ▶ 海藻エキスによる
発根促進
- ▶ 転流を促進



肥料登録番号
生第101491号

ネハルサン

定植時に



4袋 (60kg) /10a
元肥施用時同時処理

定植
ネハルサン
効果は2か月

2
か月後
白酢
月/1～2回

白酢

生育期に



灌注時: 100～300倍
散布時: 300～1,000倍

リン酸過剰圃場におすすめ体系

土に吸着されたリン酸を有機酸の効果で引き離し根に吸収されやすい状態にします。

※強酸性のため100倍より濃くならないように注意